



表示に注意?! 名称さまざま

石川県から鳥取県に亘る共通の海域でズワイガニの漁獲管理をしていますが、それぞれのご当地での地方名があります。水揚げされた県の名称での表示をしないと「産地偽装」になる可能性も! オスガニの場合、石川県＝「加能ガニ」、福井県＝「越前ガニ」となりますが、メスガニの場合も石川産に限って「香箱ガニ」となります。「メスは皆、香箱ガニ」ではなく、福井＝「セイコガニ」京都＝「コッペガニ」となります。



厳しい自主管理規制で安定供給へ

石川県では基本的な規制に加え持続的な資源確保とブランド価値維持のために自主的に規制管理を行っています。 ●殻が柔らかい幼いカニについては全面禁漁を実施しています。 ●オス（加能ガニ）の甲羅幅90mm以上を厳守。 ●産卵保護のためメスの漁期をオスよりも大幅に短く設定（11月6日から12月いっぱい）。 ●産卵場や未成体の保護を目的に特定の水深、海域での操業を自粛。これらの努力により、資源の大幅な減少の可能性は低いとされています。



入荷情報

いよいよ、カニ解禁!



いよいよ、**加能ガニ（ズワイガニ）**の解禁です!

輪島崎地区の物揚場（長さ約212m）において本格的な工事が完了し、岸壁の復旧と水深の確保が整いました。これにより、約40隻の停泊や2隻同時の給油対応など、11月6日のカニ漁解禁に向けた出港環境が大きく改善されました。

一般に“ズワイガニ”と呼ばれる雄ガニは11月6日～3月20日、今年も“**コウバコガニ**”と呼ばれるメスガニは11月6日～12月いっぱいまで。カニシーズンを迎えたしばらくの間、カニ漁に集中する関係上、地物の**甘エビ**が品薄になることがありますのでご注意ください。**天然ブリ**は北海道から入荷。脂ののりが良いです。今後は新潟、北陸と南下して来ます。**タラ**は山陰、東北、石川と入荷しています。地物は11月中旬以降から本格的に入荷してきます。その頃には型や子（**白子**）もしっかりしてきます。但し、近年タラの漁獲高は激減しており、漁獲規制の対象になる可能性があります。**ノドグロ**も韓国からの輸入も少なく、高騰しています。年末に向け早めの対処が必要です。